

# 英会話は プラスαで 学ぶ時代

**02** ただそれだけじゃものたりない

みなさんは今まで習い事をしたことがあるだろうか？ 聞くまでもなく、ほとんどの人が習い事経験者だろう。というより、現役の人でも多数いるのでは？ お習字、学習塾に始まり、スポーツクラブやお料理など、習い事のバリエーションはカウントできないくらい多岐にわたる。

なかでも老若男女幅広く高い需要と、飽和状態といえるほどの供給がみられるのが英会話教室。誰しも一度は興味を持つなり、通学するなりしたのではないだろうか。しかし、そんな人たちに比例して、不本意な終わりを迎える人が多いことも事実。「単調な内容に飽きてしまった」「学校の授業と変わらない」などの理由で離脱してしまう。飽きっぽい私たちには、英会話をコツコツと学び続けることは、なかなかムズカシイ。

そこで今回オススメするのが英会話だけではなく、ほかの技能も学べる教室。飽きやすく単調になりがちな授業を、おもしろく役立つ情報とともに自然と会得できるようにしてしまおうという、なんともお得感満載の教室だ。

調べてみると、英会話プラスαを教えてくれる教室が結構ある。いけばなやスキーにスノーボード、絵画、とバラエティーに富み、かなり選び甲斐のあるラインアップ。多くの教室がコミュニケーションをとりながら会話重視で授業を進めるので、ひとりで煮詰まることもない。

たかが英会話教室、されど英会話教室。せっかく始めるのだから、続けたい。この機会にあなたも興味のある分野から英会話を攻めてみては!?



**+** ゴルフ  
 料金 ■11万円～(授業料のみ/1週間に)  
 定員 ■なし(1クラスは6人まで)  
 男女比 ■5:5

産経旅行がオーストラリアのゴルフアカデミーAAAと提携し、行なっている教室。ゴールドコーストのゴルフコースでPGAのティーチングプロのレッスンを受けられる。午前中は英会話スクール、午後はゴルフ用語を学習しながらのゴルフレッスン。最高96週間まで受講できるので気合いの入った人にもオススメ。生徒には友達同士での参加が多く、遊び感覚でもOK。



**+** ウォーキング  
 料金 ■全6回 2万7000円(1回 5000円)  
 定員 ■10名前後  
 男女比 ■0:10

講師は元客室乗務員。経験したこと、エピソード、身につけた動作や言葉使いなどを取り入れた国際色豊かなレッスンが特徴。約1時間30分の授業では、日本と海外の常識の違いや、速攻役立つワンポイント英会話も学ぶことができ、大変お得。名刺の扱い方やコートに着脱といった身のこなし方も教えてくれるので男性も参加してみる価値は大きい。



**+** 財務  
 料金 ■38万円(1年コース)  
 定員 ■10名前後  
 男女比 ■5:5

財務会計の実務を入門から徹底指導。成績次第では卒業後の就職もフォローしてくれる。会計システムの考案から人事など経営全般をこなしたマルチな学園長が講師を務める。また、通学不可能な場合は通信講座コースもあり、働きながらでも学べる。そのため、受講生は20～30代で社会人が多い。即戦力となるために、全力投球で英語+付加価値をうけてみては!?



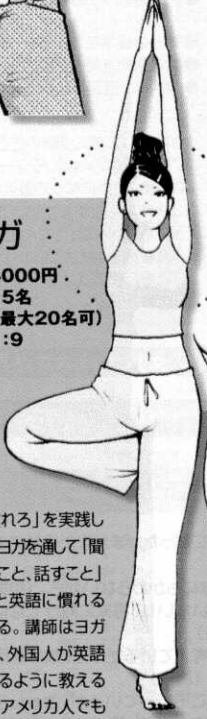
**+** マナー  
 料金 ■5880円(5レッスンから割引あり)  
 定員 ■8名  
 男女比 ■4:6

無料体験などによってそれぞれ自分のレベルに合ったコースに振り分けてくれるので、超初心者でも安心して通える。マナー以外に海外でも生活できるようにカルチャー、習慣、現地情報なども教えてくれるという濃い内容。海外とビジネス中の人や、留学、海外赴任を予定している人には特にオススメ。英会話+マナーの授業で外国人相手でもコミュニケーション上手になれる!?



**+** ヨガ  
 料金 ■4000円  
 定員 ■15名(最大20名可)  
 男女比 ■1:9

「習うより慣れる」を実践している教室。ヨガを通して「聞くこと、見ること、話すこと」により自然と英語に慣れることができる。講師はヨガの先生だが、外国人が英語を習得できるように教えるESL専門のアメリカ人でもあるのでネイティブな英語に触れられる。語学力のカウンセリングやレベルチェックはないが授業はすべて英語で行なわれるので、ある程度聞き取りはできたほうが楽しめるだろう。



**+** 料理  
 料金 ■5000円(材料費込み)  
 定員 ■4名  
 男女比 ■0:10

講師はバイリンガルのカナダ人なので構えずにネイティブイングリッシュに触れられる心強い教室。確実に英語と料理を学べる環境作りのために4人までの少人数制なので、質問やみんなでの会話しやすいのも魅力。料理を作るときはもちろん、食事中や食後のディスカッションや指導も充実している。料理も英語もコミュニケーションもすべて楽しみながら勉強したい人には最適。

